第144回　地区内中小企業景気動向調査結果

（令和6年10 ～ 12月期実績・令和7年 1 ～ 3月期見通し）

1. **調 査 時 点**　　令和6年12月 2日 ～ 12月 6日

2. **調査対象企業数**　　163社中回答 163社　　回答率 100.0%

区　　分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率（%）
製　造　業	従業員　300人以上	1	1	100.0
〃	従業員　300人以下	33	33	100.0
建　設　業	従業員　300人以下	2	2	100.0
〃	従業員　50人以下	37	37	100.0
卸　売　業	従業員　50人以下	8	8	100.0
小　売　業	従業員　50人以下	53	53	100.0
サービス業	従業員　300人以下	1	1	100.0
〃	従業員　50人以下	28	28	100.0
合　　計		163	163	100.0

3. **調 査 方 法**

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

4. **分 析 方 法**

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・ＤＩ値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

5. **お問い合わせ先**

日高信用金庫　業務部地域貢献課（℡.0146－22－4100、内線 855）
〒057-0013　浦河郡浦河町大通２丁目31番地2

全業種総合　163企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概　　況

今期(令和6年10～12月期)の業況判断D.I.は△12.3と、前期(△12.3、令和6年7～9月期)と同水準となった。前年(△17.0)比では4.7ポイント上昇した。前期(令和6年7～9月期)調査時点での今期(令和6年10～12月期)見通し(△14.6)を2.3ポイント上回る水準となった。業種別の業況判断D.I.は、製造業△17.7(前期△28.5)、建設業0.0(同0.0)、卸売業△12.5(同0.0)、小売業△15.1(同△13.1)、サービス業△17.2(同△10.3)となった。

売上額判断D.I.は△2.5と、前期(5.5)比8.0ポイント下降、収益判断D.I.は△6.8と、前期(△4.2)比2.6ポイント下降した。

来期(令和7年1～3月期)の予想業況判断D.I.は△33.1と、今期実績比20.8ポイントの下降見通しとなった。業種別にみると、製造業△53.0(今期△17.7)、建設業△12.9(同0.0)、卸売業△37.5(同△12.5)、小売業△33.9(同△15.1)、サービス業△34.5(同△17.2)と来期を見通している。

【業種別天気図】

時期 / 業種	地区内				北海道	全国
	2024年 4月～6月	2024年 7月～9月	2024年 10月～12月	2025年 1月～3月 見通し	当期	当期
総合						
製造業						
建設業						
卸売業						
小売業						
サービス業						

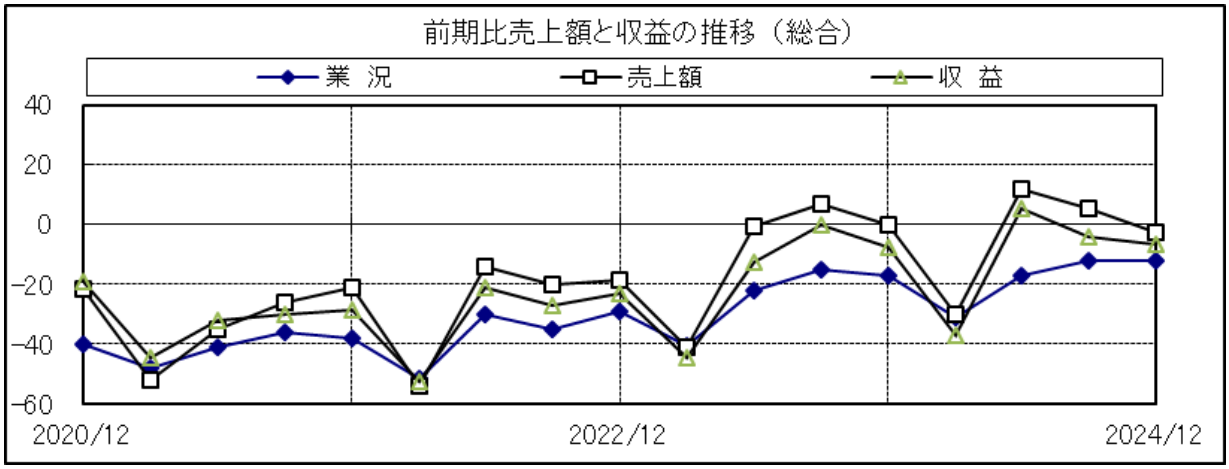
好調 ← → 低調

この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。

□　景　　況

DI値の推移	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期実績	1～3月期見通し
業　況	-17.1	-12.3	-12.3	-33.1
売上額	12.1	5.5	-2.5	-35.1
収　益	5.5	-4.2	-6.8	-34.5

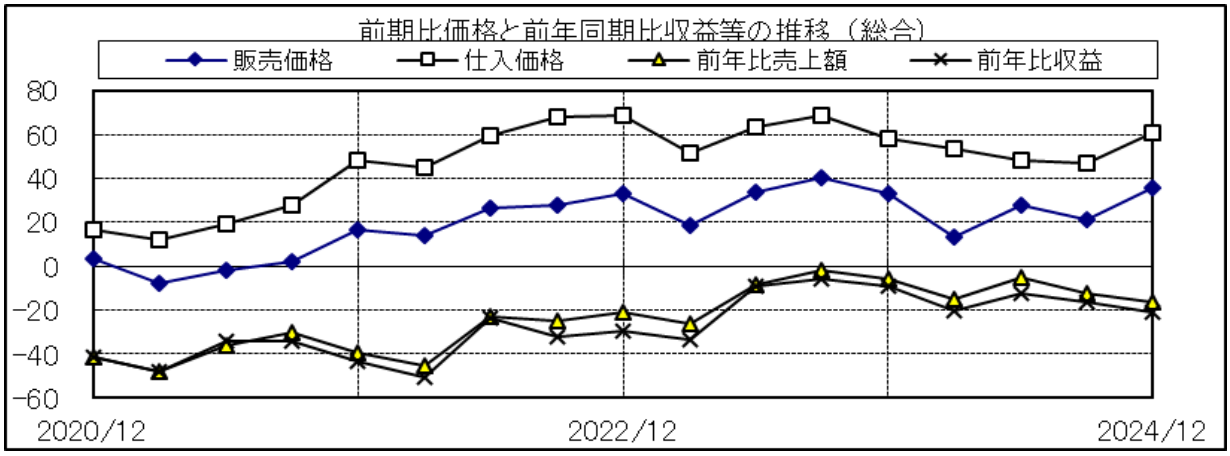
全業種総合の今期の業況判断 D.I.は△12.3 で、前期と同水準となった。前年(△17.0)比では4.7 ポイント上昇した。地区別の D.I.は、高い順に、三石が最も高く、次に静内、えりも、浦河、様似、と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D.I.は△2.5 で、前期比 8.0 ポイント下降。収益判断 D.I.は△6.8 で、同2.6 ポイント下降した。



□　価格面、前年同期に比べた動き

DI値の推移	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期実績	1～3月期見通し
販売価格	27.9	21.4	35.6	17.3
仕入価格	48.5	46.9	60.8	38.1

販売価格判断 D.I.は 35.6 で、前期比 14.2 ポイント上昇、前年(32.9)比で 2.7 ポイント上昇した。仕入価格判断D.I.は60.8 で、前期比 13.9 ポイント上昇、前年(58.3)比で 2.5 ポイント上昇した。業種別の前期比を見ると、販売価格は全業種で上昇した。仕入価格は、卸売業が横這いとなり、他の業種は上昇した。



□　雇用面の動き

DI値の推移	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期実績	1～3月期見通し
残業時間	-3.6	0.0	6.2	-8.6
人手状況	-29.7	-23.2	-28.4	-25.8

残業時間判断D.I.は6.2 と、前期比 6.2 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。人手過不足判断D.I.は△28.4 と、前期比5.2ポイント下降し、人手不足感が強まった。

□　設備投資の動き

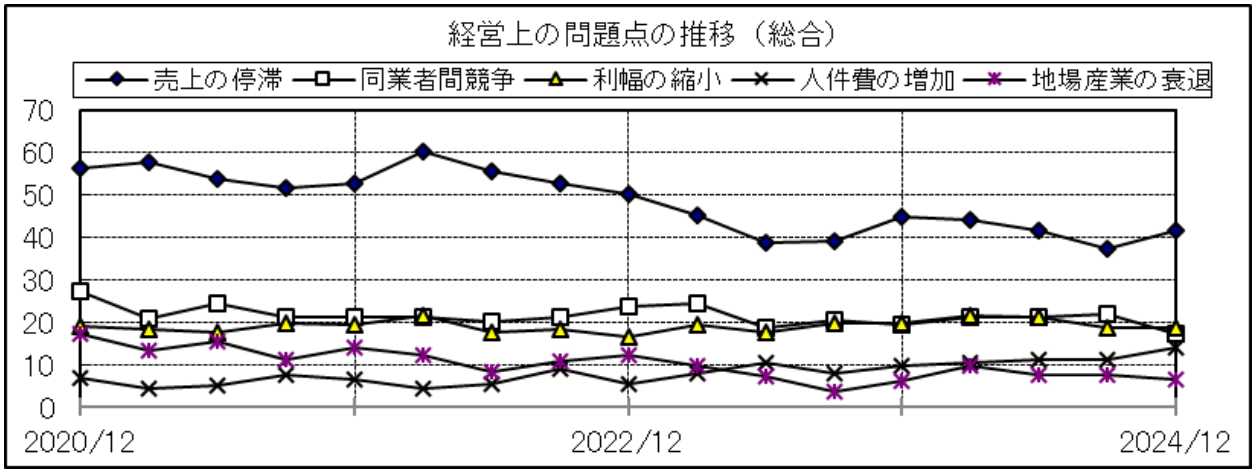
設備投資の充足感を示すD.I.は△11.6で、前期(△8.5)比3.1ポイント下降した。

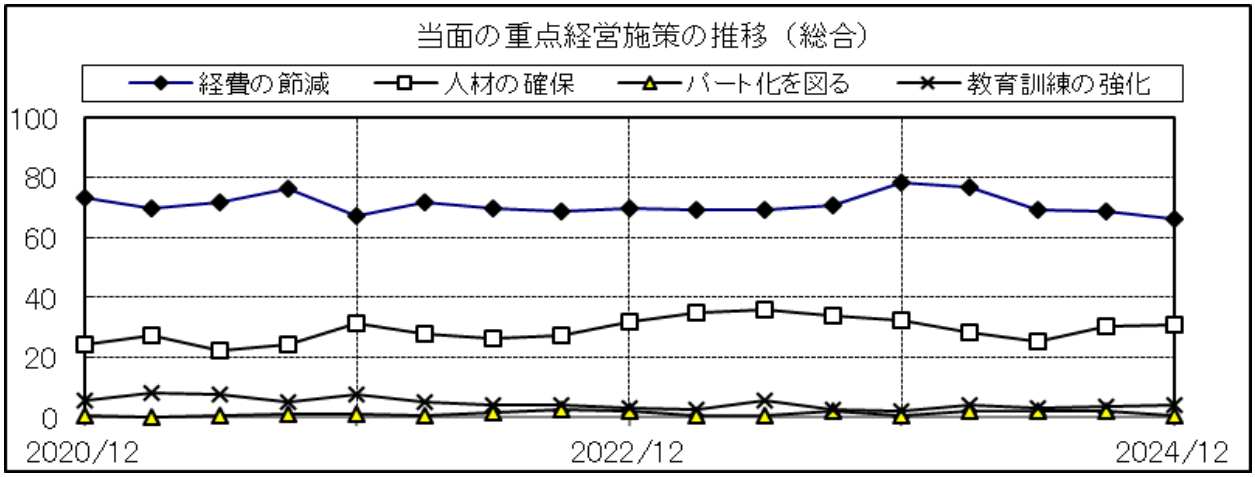
設備投資実施企業割合は8.6で、前期(10.4)比1.8ポイント下降した。設備投資は、前期17社に対し、14社の実施となった。来期の設備投資は、13社の予定となっている。

□　経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が 41.7%で最も多く、次に「人手不足」28.2%、「利幅縮小」18.6%、「同業者競合」17.3%、「人件費増加」14.1%、「天候不順」7.7%、「諸経費増加」7.1%、「地場産業衰退」6.4%、「代金回収悪化」3.2%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が 66.2%で最も多く、次に「人材確保」31.1%、「教育訓練強化」4.0%、「不動産有効活用」1.3%となっている。





□　来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△33.1と、今期比20.8ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は△35.1と、今期比32.6ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△34.5と、今期比27.7ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D.I.は17.3と、今期比18.3ポイントの下降を見通している。

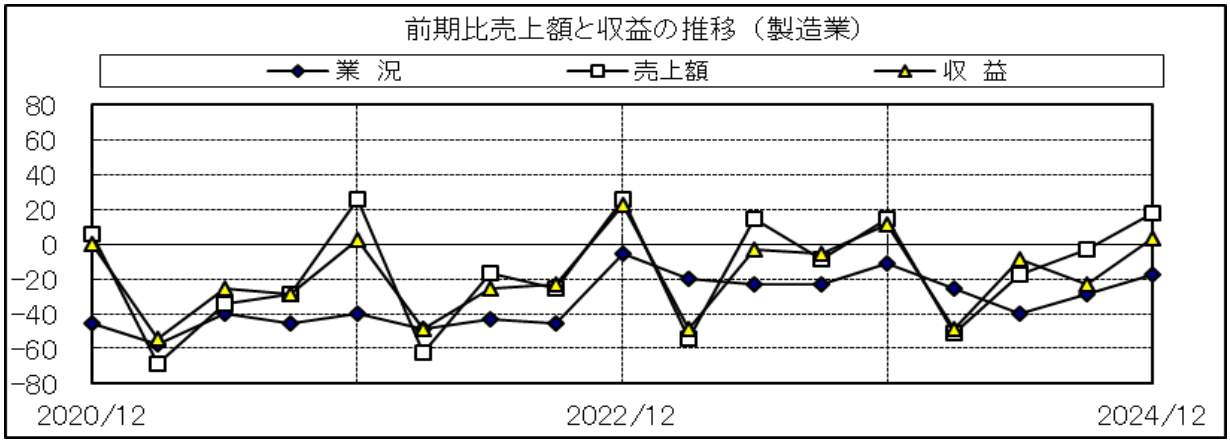
予想仕入価格判断D.I.は38.1と、今期比22.7ポイントの下降を見通している。

製　造　業　34企業（回答率100.0%）の調査結果です

□　景　　況

DI値の推移	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期実績	1～3月期見通し
業　況	-40.0	-28.5	-17.7	-53.0
売上額	-17.6	-2.8	17.7	-64.7
収　益	-8.6	-22.9	3.0	-64.7

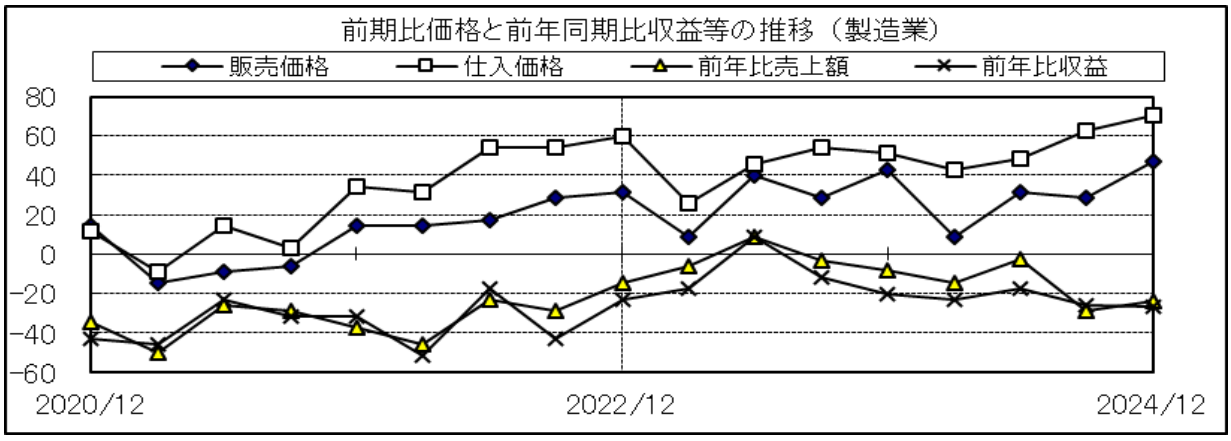
今期の業況判断D.I.は△17.7で、前期比10.8ポイント上昇、前年(△11.4)比では 6.3 ポイント下降した。地区別のD.I.は高い順に、浦河が最も高く、次にえりも、静内・広尾が同率、様似と続き、三石が最も低い水準となった。売上額判断D.I.は17.7で、前期比20.5ポイント上昇。収益判断D.I.は3.0で、前期比25.9ポイント上昇した。



□　価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI値の推移	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期実績	1～3月期見通し
販売価格	31.4	28.6	47.1	17.6
仕入価格	48.6	62.9	70.6	35.3

販売価格判断D.I.は47.1で、前期比18.5ポイント上昇。前年(42.9) 比では4.2ポイントの上昇となった。仕入価格判断D.I.は70.6で、前期比7.7ポイント上昇。前年(51.4)比では19.2ポイントの上昇となった。



□　雇用面の動き

DI値の推移	4～6月期実績	7～9月期実績	10～12月期実績	1～3月期見通し
残業時間	2.8	5.7	20.6	-20.6
人手状況	-25.7	-22.9	-41.2	-29.4

残業時間判断D.I.は20.6で、前期比14.9ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断D.I.は△41.2で、前期比18.3ポイント下降し、人手不足感は大幅に強まった。

□　設備投資の動き

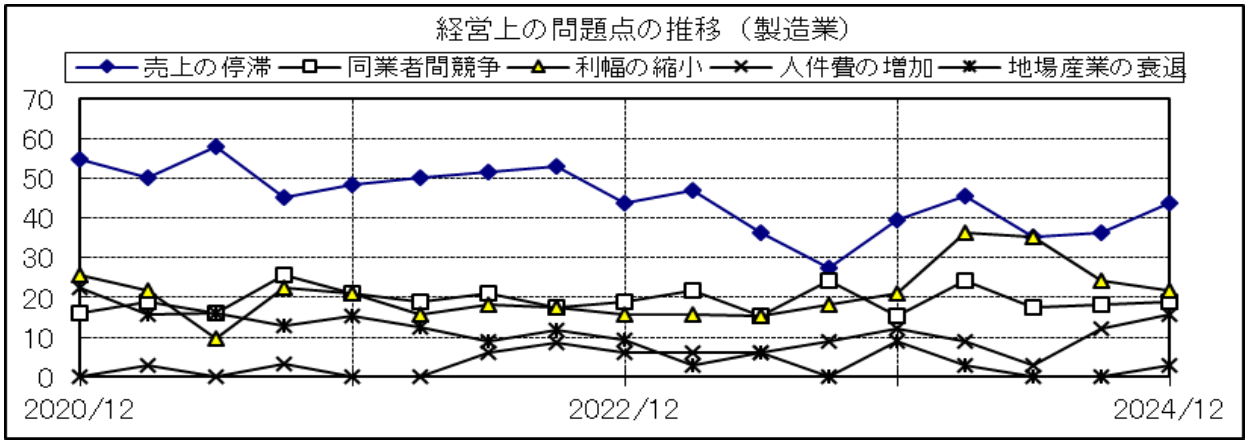
設備投資の充足感を示すD.I.は△23.5で、前期(△17.1)比6.4ポイント下降した。

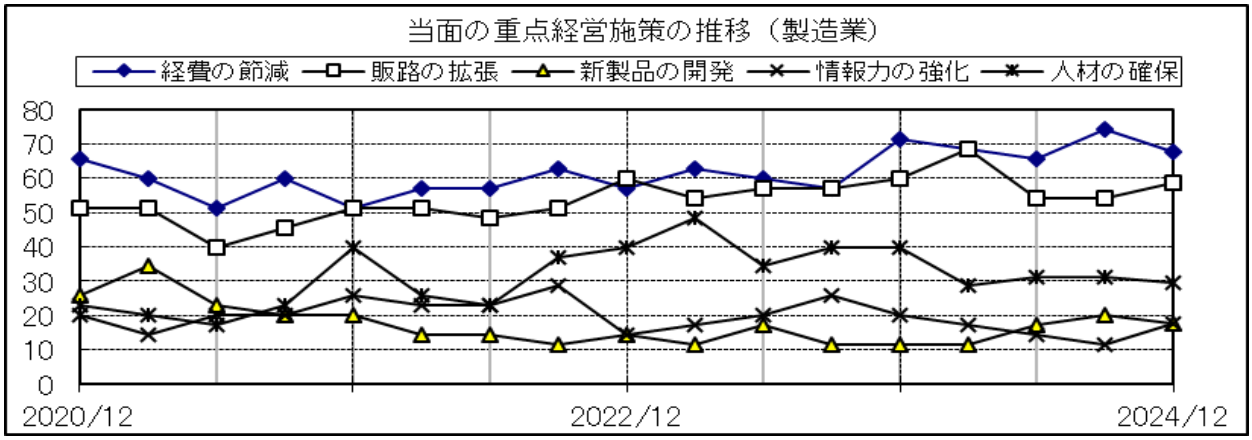
設備投資実施企業割合は14.7で、前期(20.0)比5.3ポイント下降した。設備投資は、前期7社に対し5社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□　経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「原材料高」が68.8%と最も多く、次に、「売上停滞減少」43.8%、「人手不足」31.3%、「利幅縮小」21.9%、「同業者競合」・「工場機械老朽化」18.8%、「人件費増加」15.6%、「値上要請」・「諸経費増加」12.5%、「天候不順」9.4%、「生産能力不足」6.3%、「地場産業衰退」3.1%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が67.6%と最も多く、次に「販路拡大」58.8%、「人材確保」29.4%、「情報力強化」・「新製品開発」17.6%、「提携先の開拓」8.8%、「機械化促進」が5.9%、「不採算部門縮小」・「パート化」・「労働条件改善」・「工場増設移転」が2.9%となっている。





□　来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△53.0と、今期比35.3ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は△64.7と、今期比82.4ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△64.7と、今期比67.7ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D.I.は17.6と、今期比29.5ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D.I.は35.3と、今期比35.3ポイントの下降を見通している。